

# 新型コロナウイルスが不正・詐欺に及ぼす影響を分析した統計資料 「不正に対する新型コロナウイルスの影響 ベンチマーク レポート」を 公開しました

2020 年 7 月 10 日

一般社団法人日本公認不正検査士協会



2020 年 7 月 8 日、一般社団法人日本公認不正検査士協会（主たる事務所：東京都千代田区、理事長：藤沼 亜起、以下「ACFE JAPAN」）は、新型コロナウイルスが不正や詐欺に及ぼす影響を分析した統計資料「不正に対する新型コロナウイルスの影響 ベンチマーク レポート（評価報告書）」を公開しました。

本報告書は、世界最大の不正対策教育機関である ACFE (Association of Certified Fraud Examiners; 公認不正検査士協会) が公開した資料 “Fraud in the Wake of COVID-19: Benchmarking Report” を邦訳したもので、2020 年 4 月下旬から 5 月中旬にかけて行われた、不正対策の専門家である会員へのアンケートの回答を集計・分析したものです。

2020 年 6 月下旬にオンラインで開催された 31st Annual ACFE Global Fraud Conference (ACFE 年次総会) の基調講演に登壇した、企業調査やリスク コンサルティングを手掛ける Kroll 社の創業者 Jules Kroll 氏によると、欧州の大手銀行では第 1 四半期の不正や詐欺の認知件数が 600% を超えています。

新型コロナウイルス (COVID-19) がもたらしたニュー ノーマル時代に、どのような不正・詐欺が行われていて、どのような問題・課題が生じているのか。不正対策に取り組まれる方の参考・一助となりましたら幸いです。

## ○ 本報告書について

本報告書の閲覧は無料です。ACFE JAPAN の Web サイト ([ACFE.jp](http://ACFE.jp)) より PDF をダウンロードしてご覧いただけます。弊協会の会員である (会員になる) 必要はありません。

・ 原著 “Fraud in the Wake of COVID-19: Benchmarking Report” [英語] は、ACFE (本部) Web サイト ([ACFE.com](http://ACFE.com)) よりダウンロードしてご覧いただけます。

## ○ 要約 (Key Findings)

- ・ 回答者の 68% が、2020 年 5 月の時点で、すでに不正・詐欺の発生の増加を認識しています。
- ・ 回答者のほぼ全員 (93%) が、これから 12 か月の間に、不正・詐欺の発生は増加すると予測しているだけでなく、同半数以上 (51%) は著しく増加すると予測しています。
- ・ 不正リスクの種類ごとの変化としては、ビジネス メール詐欺 (いわゆる役員なりすまし詐欺・取引先なりすまし詐欺) や、ハッキング (情報端末の乗っ取りや機密情報の搾取など)、ランサムウェア (端末やファイルを使えないようにして身代金を要求する不正なソフトウェア)、マルウェア (端末や利用者有害となる不正なソフトウェア) などに代表されるサイバー不正について、回答者の 81% が 5 月時点ですでに増加を認識し、同 91% がこれから 12 か月でさらに増加すると予測しています。
- ・ これに続いて、価格のつり上げ、商品の不実表示 (虚偽記載)、過大請求などに代表される販売業者による不正について、回答者の 58% がすでに増加を認識し、同 86% がさらに増加すると予測しています。

- ・不正との闘いにおける問題・課題として、回答者の 38% が「出張等ができない」(現地での監査等ができない) ことを挙げており、これに続いて、同 35% が「業務や調査の取り止め・延期」、同 32% が「証跡類を利用(閲覧)できない」ことを挙げました。

本報告書では、ここに挙げた事項以外にも、不正リスクの種類ごとの認識と予測、組織の不正対策への投資の予測、不正との闘いにおける問題・課題について、集計・分析しています。

不正対策の取り組みに不足がないか、また、これからどのように対応していくか、などをご検討になる際の参考資料として、ご利用・ご活用ください。

## ○ 引用等について

- ・著作権法等の法令に認められた方法・範囲でご利用いただけます。
- ・社内教育等でご利用になる場合や、Web サイトや SNS などに取り上げていただける場合は、次の各事項について遵守してください。
  - ・ファイル・印刷物の再配布やファイルへの直リンクの設置は行わないこと。  
(例外：社内教育で使用する場合にかぎり、本報告書の全頁または抜き刷りを配付していただいても構いません。)
  - ・引用として認められる範囲を越えて掲載しないこと。(許容されない例:1 ページまるごと掲載する。)
  - ・読者等が異なる受け取り方をする引用を行わないこと。
  - ・図表を引用する場合は、見た目が変わる加工を行わないこと。(倍率調整は許容されます。)
  - ・出典を明記すること。  
例：「不正に対する新型コロナウイルスの影響 ベンチマーク レポート」(ACFE JAPAN) より引用
  - ・(可能であれば) ACFE JAPAN Web サイト (<https://ACFE.jp>) へのリンクを設けること。
- ・弊協会にもご一報いただけますと幸いです。また、引用・掲載・使用にかかるご質問は、どうぞ ACFE JAPAN までお問い合わせください。

## ○ ACFE・ACFE JAPAN について

- ・ **ACFE** (Association of Certified Fraud Examiners; 公認不正検査士協会)(本部：米国テキサス州) は、**最先端の不正対策の訓練と教育を提供する世界最大の不正対策教育機関**です。不正対策の専門家であることを示す国際資格 CFE (Certified Fraud Examiners; 公認不正検査士) を認定しています。
- ・ ACFE JAPAN では、ACFE 本部と協力して不正対策に関連する活動・教育などの日本国内への普及・展開を行っています。
- ・ ACFE・ACFE JAPAN は、本報告書以外にも、不正対策に取り組む方々が参考にできる資料を公開しています。あわせてご利用ください。

## ○ ダウンロード・お問い合わせ先



一般社団法人 日本公認不正検査士協会  
ACFE JAPAN

一般社団法人 日本公認不正検査士協会  
ACFE JAPAN 事務局 ([info@acfe.jp](mailto:info@acfe.jp))

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 - 4 龍名館本店ビル 5 階

Web : <https://ACFE.jp> / TEL : 03-5296-8338 / FAX : 03-5296-8337